



平成22年3月号

発行日 平成22年 3月30日発行
発行者 広島経済同友会 尾道支部
住所 尾道市土堂2-10-3 商工会議所ビル3F
Tel 0848-23-2222 Fax 0848-23-3333
E-mail: onodoyuk@urban.ne.jp

2月例会報告

開催日時 平成22年2月20日(土) 18:30～
開催場所 尾道ロイヤルホテル 3階
担当部会・委員会名 ネクスト尾道部会

佐藤公治参議院議員(民主党副幹事長)を迎え、「現在の政治状況」をテーマにご講演を頂いた。まず、『政権の座に着いた民主党は、革命実践の途上であり、意識革命を旗印に、次の参議院選挙で仕上げる為、現在、引渡された家(国)の点検に追われており、修繕でなく、改築・新築予定である』と、総括された。名古屋市の、地域選出ボランティア代表に財政基盤を与え、地域の課題を託すという、革命的な地域主権のモデルケーススタディを、実例として取り上げつつ、道州制の話に移り、三原市と合併し、陸海空の交通の要所になる事を前提に、「新市」は景観の美しさ、「共生の理念」も相俟って、「州都」としての都市格を備えることが出来ると説かれた。さらに、国政に話が及び「議員連盟」・「陳情システム」・「国会法の改正」・「仕分け作業の真の目的」・「日本のマスコミの問題点」と広範囲に亘る話題を、熱く「想い」を込めて語られた。特に「陳情システム」については、地方に財源・権限を移し「地方」から「国」への陳情を不要なものとするため、そのプロセスとして「一時的に幹事長に陳情を一元化・掌握・差配」する制度をつくった。さもなくば、「ひも付き補助金」・「既得権益」の廃止・廃絶は不可能と説明された。また、交友のある、中村 松山市長の「坂の上の雲」ドラマ化にかけた情熱、新井満氏の巧みな挨拶を話題にされ、今求められているリーダーの資質として「人々をその気にさせる」能力であると断じた。目指す国の形の一つのタイプとして英国議會を挙げ、真の討論を行いつつ国を経営する希望を語り、質疑に入った。熱い講演に呼応する様に、「民主党のヴィジョンが見えない」、「財政赤字の処置」、「道州制実現時の司法・徴税・政府組織」、「小沢氏とは?」、「鳩山氏とは?」と矢継ぎ早の質問が続き、夫々に精力的にお答え頂き例会を終了した。末筆ながら、国会開催中の多忙な時期に貴重な時間を頂き改めて感謝の意を表したい。



現在政権中枢で活躍しておられる、佐藤公治参議院議員(民主党副幹事長)を迎え、「現在の政治状況」をテーマにご講演を頂いた。政権交代を「革命」と捉え、来る参議院選挙で過半数を獲得することで、その仕上げを行うと熱く語られたのち、「道州制及びその州都」、「地域主権の実験」、国政における「議員連盟改革」、「新陳上システムの構築」、「仕分け作業の真の目的」、「日本のマスコミの問題点」等、広範囲に渡るテーマにつき、具体的事例や、その「想い」をもユーモアを交えつつ説明された。質疑時間を十分持ちたいという講師の意向と、会員の強い問題意識も相俟って、「民主党のビジョン」、「財政赤字への対応」、「道州制実現後の政治体制」、「小沢氏とは?」、「鳩山氏とは?」等、多彩な質問がなされ、夫々に実に誠意をもってお答え頂いた。末筆ながら、国会開催中の多忙な時期に貴重な時間を頂き改めて感謝の意を表したい。

ネクスト尾道部会 三宅 宏

3月例会報告

日時 平成22年3月18日(木) 18:30～20:00

場所 尾道商工会議所 2F大会議室
担当委員会 ICT・ユビキタス研究委員会
演題 瀬戸内・海の道1兆円構想について
講師 広島県企画振興部
"瀬戸内・海の道1兆円プロジェクト"
チームリーダー 後藤 昇 氏

内容 昨年10月に引き続きお忙しい中、後藤先生にお越しいただき、瀬戸内・海の道1兆円構想についてお聞きしました。

- ・湯崎県知事マニフェスト筆頭テーマである。
- ・2010年はビジットジャパンイヤーであり、瀬戸内海は最重点観光地
- ・海の道1兆円構想の方向性
 - 1兆円は投資額ではなく、例えば“消費効果・経済波及効果等”を指す。
- ・今後の取組
 - 瀬戸内海をさまざまな道で結ぶためのビジョンを描く
 - 地域の宝を磨く仕組みを考え、宝と宝、宝と人、人と人をつないでいく。
 - 地域産業の裾野を広げ、付加価値をつける。
- ・尾道に、お魚観光市場がないのが不思議!
- ・これからは食でつくるまちづくり
- ・インターネットで観光マップを入手するため、情報発信が大切。

○ 海の道の目標

- ・1度訪れてみたい
- ・2度、3度訪れたい



等々の企画

当日は、海の道プロジェクトチームの企画員の出原 由貴様、調査スタッフの米山 俊哉様にもお越しいただき、有意義な時間を過ごさせて頂きました。

今後とも、『尾道』を宜しく願います。ありがとうございました。

ICT,ユビキタス研究委員会 宮地宏明

